

(要領第5の2(1)関係)
(様式3)個別箇所評価シート

分野	人家等に対する地すべり対策・急傾斜地崩壊対策		事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等				
市町村名	駒ヶ根市	ふりがな 箇所名	わて 上手		事業年度 (完了年度は見込み)	H25	年度～	H27	年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	全体	重力式擁壁工 L=100m			80,000	国庫	その他	県債	一般財源	
	H25年度	測量・調査・設計 1式			20,000	9,500	1,000	8,550	950	
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評 価			ランク	評点			
	(30)	必要性	保全対象人家戸数	<input type="checkbox"/> 10戸以上	<input type="checkbox"/> 5～9戸	<input checked="" type="checkbox"/> 4戸未満	B	3		
		保全対象公共施設数	<input checked="" type="checkbox"/> 2箇所以上	<input type="checkbox"/> 1箇所	<input type="checkbox"/> なし	8				
		保全対象に援護者施設があるか	<input type="checkbox"/> 重要施設あり	<input checked="" type="checkbox"/> 一般施設あり	<input type="checkbox"/> なし	6				
		保全対象に避難所・避難経路があるか	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		2				
		小 計				19				
	(15)	重要性	過去の災害履歴	<input type="checkbox"/> 過去10年に1回以上	<input type="checkbox"/> 災害履歴地	<input checked="" type="checkbox"/> なし	C	0		
		交通遮断による地域経済などへの影響	<input checked="" type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	3				
		防災計画上の位置づけ	<input type="checkbox"/> 位置づけあり	<input checked="" type="checkbox"/> 位置づけなし		0				
	小 計					3				
	(15)	効率性	費用対効果(B/C)	<input checked="" type="checkbox"/> B/C3.0以上	<input type="checkbox"/> B/C1.0以上3.0未満	<input type="checkbox"/> B/C1.0未満	A	9		
		早期発現度	<input checked="" type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 5年～10年未満	<input type="checkbox"/> 10年以上	6				
		小 計				15				
	(25)	緊急性	斜面の高さ	<input checked="" type="checkbox"/> 30m以上	<input type="checkbox"/> 10m以上30m未満	<input type="checkbox"/> 5m以上10m未満	A	5		
		斜面平均勾配	<input checked="" type="checkbox"/> 45°以上	<input type="checkbox"/> 40°以上45°未満	<input type="checkbox"/> 30°以上40°未満	5				
		地質状況	<input type="checkbox"/> 崩積土、火山砕屑物、強風化岩	<input checked="" type="checkbox"/> 段丘堆積物	<input type="checkbox"/> 軟岩・その他	3				
		斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		3				
		植生の状況	<input type="checkbox"/> 不良	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 良好	2				
		保全対象の位置	<input checked="" type="checkbox"/> がけ下にある	<input type="checkbox"/> がけ上にある		5				
		小 計				23				
	(15)	計画	地元の協力	<input checked="" type="checkbox"/> 用地等の協力が得られる	<input type="checkbox"/> 用地等の協力が概ね得られる	<input type="checkbox"/> 協力が現時点では得られていない	A	8		
		熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> それほど高くない			7		
		小 計				15				
	費用対効果(B/C)		8.08		評 価 の 合 計			A 75		
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は大曾倉川右岸に位置し、最大勾配54°、最大高さ46mの急斜面で、保全対象として老人福祉施設(入所者数13名)、人家1戸、県道西伊那線等が存在する。今後の豪雨や地震等により斜面が崩壊する危険性が高く、土砂災害発生時には甚大な被害が生じる恐れがあるため、早急に対策を講じる必要がある。							
地域からの要望経緯		平成23年9月、市役所へがけ対策の要望がなされる。 平成23年11月、市役所より県へ要望がなされる。								
事業説明等の経緯		平成23年8月土砂災害防止法の指定にかかわる説明会で、大曾倉地区住民から要望あり。								
環境・景観への配慮項目		連続繊維補強土及び待受擁壁により、既存の健全な立木を残し、環境及び景観に配慮する予定。								
他事業・プロジェクトとの関連		特になし。								
特記事項	地元は対策に対しての関心が高いため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。 H23年 土砂災害防止法指定。									
地域の合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明						
部意見	保全対象に人家1戸、災害時要援護者施設がある。この施設には多くの老人が収容されており、早急に対策を行う必要がある。			行政改革課 意見	緊急性が認められる。					